

環境活動レポート

《2023 年度版》

エコ印刷から始まる

持続可能な社会へ

株式会社 プリプレス・センター

2024 年 9 月 17 日発行

はじめに

地球環境の保全は人類共通のテーマであり、企業も自らの役割を認識し具体的な行動を起こすことが必要です。株式会社プリプレス・センターは、全ての事業活動において環境に配慮し、積極的に環境の維持・改善・啓発に取組み、社会から信頼される企業を目指します。

印刷業としてできること

印刷業とは大量に紙資源を消費する製造業です。私たちに課せられた使命は、地球環境の負荷を最小限に抑えながら、文化を広く伝承するお手伝いを行い、サステナブルな製造体制を構築し社会に貢献することにあります。では、環境負荷を低減し、どう製造業としての役割を果たすのでしょうか？私たちは7つの約束を守り、サステナブルな企業作りを目指します。

《 約束 》

1. 無駄な量は作らない。(必要な時に必要な量をお届けします。また、適正量を提案します)
2. エコアクション21を通してPDCA (Plan、Do、Check、Action) サイクルによる、地球環境の負荷を最小限に抑えた製造体制を構築します。
3. 最高品質の環境配慮印刷を提案します。(紙・インキ・印刷方式等)
4. 製造での負荷を相殺する手段として、負荷の一部ですが森林などの緑化事業やグリーン電力などカーボンオフセットを行います。
5. 紙の消費を抑えるため、WEBなどの電子媒体で代替成果物をお客様にご提案します。
6. グリーン購入や環境に配慮した会議運営のグリーンコンベンションの普及や啓発など社会的な活動を企業として支援します。
7. 顧客だけではなく、仕入先や当社の社員、その家族を含めたステークホルダーに対しても環境への配慮活動を啓発していきます。

私たちは、常に環境配慮という視点にたって「サステナブル経営」と「低炭素社会」への実現へ向けて、「印刷とWEBのビジネスモデルの確立」を全社一丸となって取り組みます。

株式会社 プリプレス・センター 代表取締役

藤田 靖

■ 環境方針

環境保全に関する基本方針

地球環境の保全は人類共通のテーマであり、企業も自らの役割を認識し具体的な行動を起こす必要があります。株式会社プリプレス・センターはすべての事業活動において環境に配慮し、積極的に環境の維持・改善・啓発に取り組み、社会から信頼される企業を目指します。

環境方針

1. 環境に配慮した商品開発を行い、販売に努めます
2. 環境関連法規制その他を遵守し、汚染の予防に努めます
3. 省エネルギー・省資源・廃棄物の適正管理に努めます
4. 事業活動における環境負荷の低減に努めます
5. 環境経営の継続的改善に努めます

2004年5月1日 制定
2020年8月1日 改定
株式会社 プリプレス・センター
代表取締役 藤田 靖

■ 事業所の概要

1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社 プリプレス・センター
代表取締役 藤田 靖

2. 所在地

〒064-0810 北海道札幌市中央区南 10 条西 8 丁目 4-1

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 管理本部 福岡 三知代
連絡先 TEL：011-206-7654 FAX：011-520-7887

4. 事業の内容

企画・デザイン、制作、印刷（オフセット・オンデマンド）、製本、パッケージ加工、
マルチメディアコンテンツ制作、WEB サイト構築・システム開発、ノベルティグッズ販売

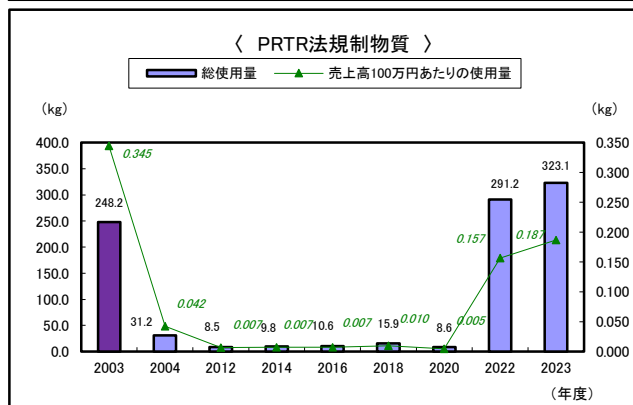
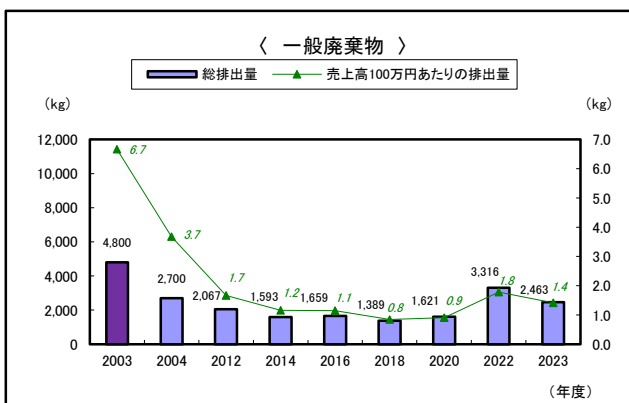
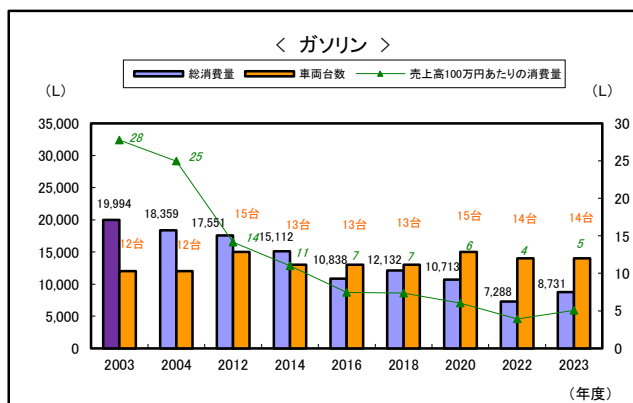
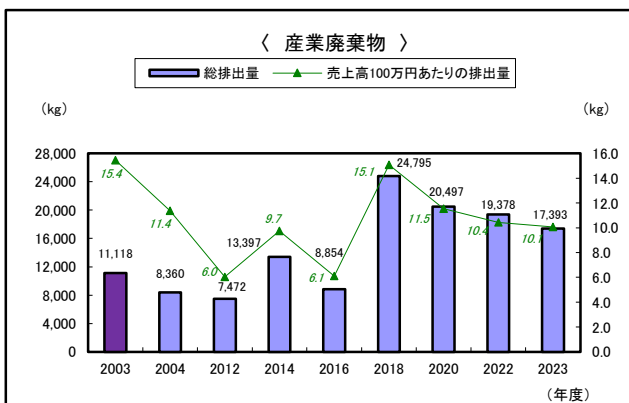
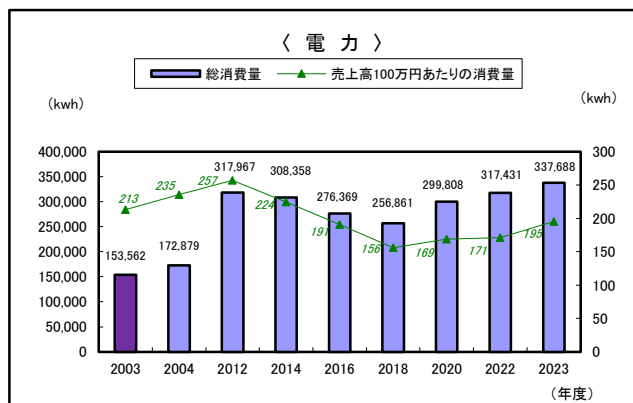
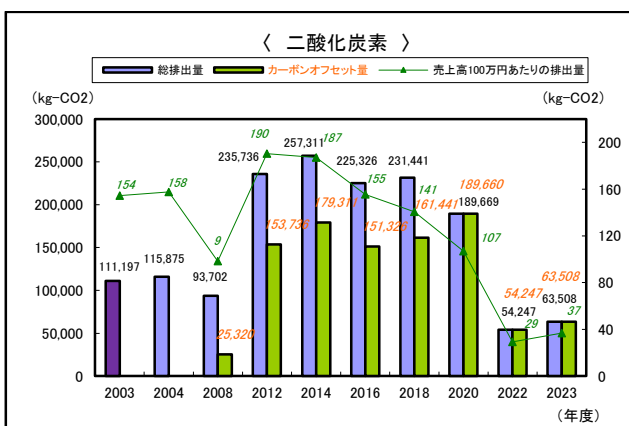
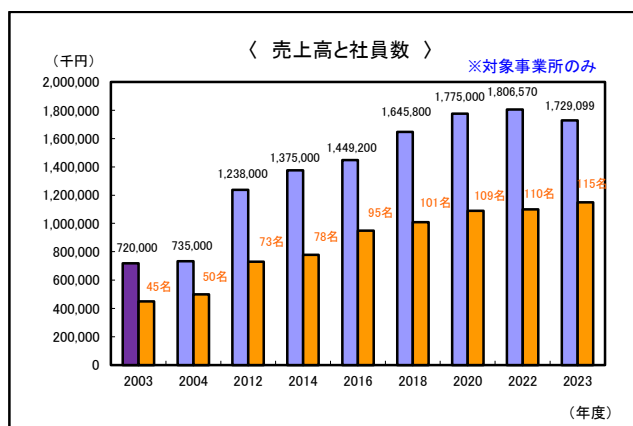
5. 事業の規模

活動規模	単位	2023 年度
売上高	万円	172,909
従業員数	人	115
床面積	m ²	3,147

6. 対象事業所

- (1) 札幌本社：北海道札幌市中央区南 10 条西 8 丁目 4-1
- (2) 東京本社：東京都台東区浅草橋 1-2-8 マルイチビル 6F
- (3) 大阪支社：大阪府大阪市東淀川区豊里 1 丁目 11-36
- (4) 北広島オフィス：北海道北広島市中央 6 丁目 1-1 イキイキビル 2F

■ 環境への負荷状況の推移（2004年度から環境活動開始）



■PRTR法規制物質の使用量の増加について

2022年度に導入したUV印刷機で使用するUVインキに規制物質が含まれているため。(PRTR法届出対象量以下)

■二酸化炭素の排出量減少について

札幌本社と大阪支社の電力を「再生可能エネルギー電力」に変更したため。(2022.01～)

■2023年度分のカーボンオフセット

「63,508kg」(オフセット予定量)

※排出した二酸化炭素を全てオフセット。

〈2023年度二酸化炭素排出係数（電力）〉

札幌／融雪電力のみ、北広島（北海道電力：0.535kg-CO2/kWh）東京（東京電力エネルギーパートナー：0.376 kg-CO2/kWh）

※再生可能エネルギー電力については、排出係数「0kg-CO2/kWh」

補足説明

◆2022 年度以降の PRTR 法規制物質の使用量の増加要因

新しく導入した UV 印刷機で使用する UV インキに規制物質が含まれているため。
(PRTR 法届出対象量以下)

◆2021 年度からの二酸化炭素の排出量減少について

札幌本社（融雪電力以外）と大阪支社の電力を「再生可能エネルギー電力」に変更したため。
(2022.01～)



札幌本社



大阪支社（電灯）



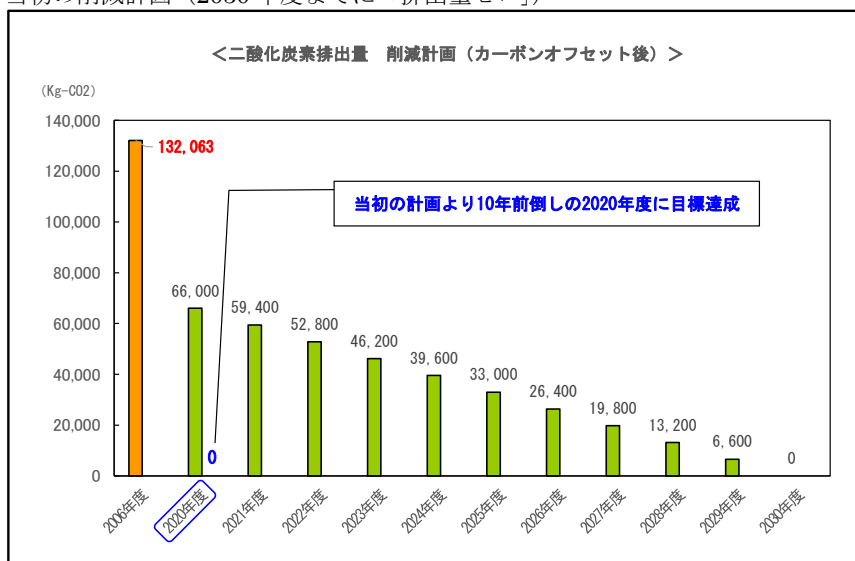
大阪支社（動力）

◆カーボンオフセット後の二酸化炭素排出量について

日常活動で削減出来ない分を毎年カーボンオフセット。

オフセット後の排出量を 2006 年度の総排出量（132,063kg-CO₂）をベンチマークとして、2020 年度までに 50%以下の「66,000kg-CO₂」となるよう活動。さらに 2030 年度までに「排出量ゼロ」を目標として活動を継続し、当初の計画を前倒して 2020 年度に「排出量ゼロ」を達成。

当初の削減計画（2030 年度までに「排出量ゼロ」）



カーボンオフセットとは

直接的な施策によって削減できない CO₂（カーボン）を、森林吸収源を守る植林やクリーンエネルギー（太陽光、水力、風力、地熱）などの事業に投資することなどにより、排出した分を相殺（オフセット）する仕組みのこと。

《 事業活動排出分のカーボンオフセット実績 》

2022 年度カーボンオフセット実績→54,249kg-CO₂

2023 年度カーボンオフセット実績→63,508kg-CO₂

《 社員の家庭から排出分のカーボンオフセット実績 》

2022 年度カーボンオフセット実績→96,484kg-CO₂

30 世帯（30 名）参加／参加率 27%

2023 年度カーボンオフセット実績→76,931kg-CO₂

25 世帯（25 名）参加／参加率 24%

（算出根拠：各公共料金等の請求書に記載の使用量をエコアクション 21 の「環境への負荷の自己チェック表」に基づいて算出）

《 輸送時排出分のカーボンオフセット実績 》

2022 年度カーボンオフセット実績→9,740kg-CO₂

2023 年度カーボンオフセット実績→8,326kg-CO₂

各宅配業者及び輸送先毎に発送数量を集計し算出

（算出根拠：発送物の数量・重量、輸送距離などを算出し、経済産業省・国土交通省の「物流分野の CO₂ 排出量に関する算定方法ガイドライン」を参考に当社基準を作成し算出）

◆排出量及びオフセットの内訳

2022年度

項 目	排出量 (kg-CO ₂)	オフセット対象量 (kg-CO ₂)
事業活動	54,249	54,249
事業活動(前年度修正分)	8,000	8,000
社員の家庭	96,484	96,484
輸送時	9,740	9,740
合 計	168,473	168,473

2023年度

項 目	排出量 (kg-CO ₂)	オフセット対象量 (kg-CO ₂)
事業活動	63,508	63,508
社員の家庭	76,931	76,931
輸送時	8,326	8,326
合 計	148,765	148,765

オフセット量(t-CO ₂)	169
オフセット比率(%)※	100.3%

オフセット量(t-CO ₂)	149
オフセット比率(%)※	100.2%

2022年度

オフセット内訳	数量(t-CO ₂)
植林	51
道有林クレジット	18
J-クレジット	90
岐阜県J-VER	10
合 計	169

2023年度

オフセット内訳	数量(t-CO ₂)
オフセット先は調整中	
合 計	169

排出権とは

植林や間伐等の森を守る活動や太陽光発電・風力発電導入等のクリーンエネルギーの活動によって吸収・削減された温室効果ガスを数値化したもの。国による制度に基づき認められると取引することができ、取引する温室効果ガスを「排出権（クレジット）」と呼ぶ。

[国内クレジット]

国（経済産業省、環境省、農林水産省）が運営する制度）に基づき認証された排出権「クレジット」のこと。本クレジットは、（京都議定書目標達成計画「平成 20 年 3 月 28 日閣議決定」において規定されている）大企業等による環境技術または資金等の提供を通じて、中小企業等が行う温室効果ガスの排出削減を見える化し、認証されることで（自主行動計画や試行排出量取引スキームの目標達成等のために）取引することができる。

参考：<http://jcdm.jp>

[J-VER]

国（環境省）が運営するオフセット・クレジット「J-VER」制度に基づいて発行される排出権「クレジット」のこと。国内の自主的な温室効果ガス排出削減・吸収活動（プロジェクト）から生み出（創出）される排出削減・吸収量をオフセット・クレジット「J-VER」という。

参考：https://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset/j-ver.html

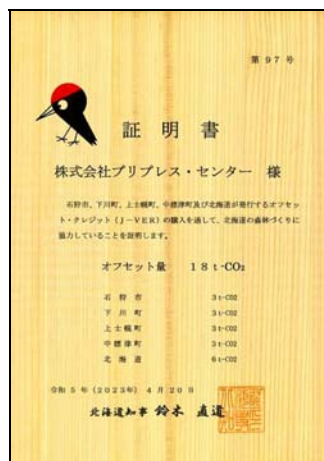
※国内クレジット制度とオフセット・クレジット（J-VER）制度は発展的に統合し、「J-クレジット制度」として、国により運営されています。

参考：<https://japancredit.go.jp>

植林活動

「一般社団法人さっぽろ北海道 MICE 振興協会」の協力による北海道美幌町の「町有林」等への植林活動。同団体のレガシーカーボンオフセット事業「サミットの森」にて本活動によるカーボンオフセットを実施しています。

<道有林クレジット>



2021 年度分カーボンオフセット証明書
（北海道）

<J-クレジット>



2021 年度分カーボンオフセット証明書
（北海道環境財団）

<岐阜県東白川村 J-VER>



2021 年度分カーボンオフセット証明書
（一般社団法人 more trees）

<植林>

一般社団法人さっぽろ北海道 MICE 振興協会の「サミットの森」にてオフセット

(<https://stg.webstyle2.com/mice-hokkaido/achievements/>)

《 カーボンオフセット商品での実績 》

カーボンオフセット商品とは

商品を購入する事で、お客様ご自身が二酸化炭素の排出量削減に貢献できる商品のこと。

当社のカーボンオフセット商品

●グリーンエコ年賀状（名入れ年賀状・パック年賀状）

年賀状の購入を通じて北海道美幌町に植林を行える商品です。名入れ年賀状は 310 枚分で、パック年賀状は 1 パック（3 枚入）を 36 パックで、カラマツ 1 本の植林を行います。

●カーボンオフセットカレンダー

カレンダーの購入を通じて北海道美幌町に植林を行える商品です。カレンダー100冊に付き、カラマツ 1 本の植林を行います。

2023 年度カーボンオフセット実績→168,610kg-CO₂

一般社団法人さっぽろ北海道 MICE 振興協会の「サミットの森」にてオフセット
(<https://stg.webstyle2.com/mice-hokkaido/achievements/>)

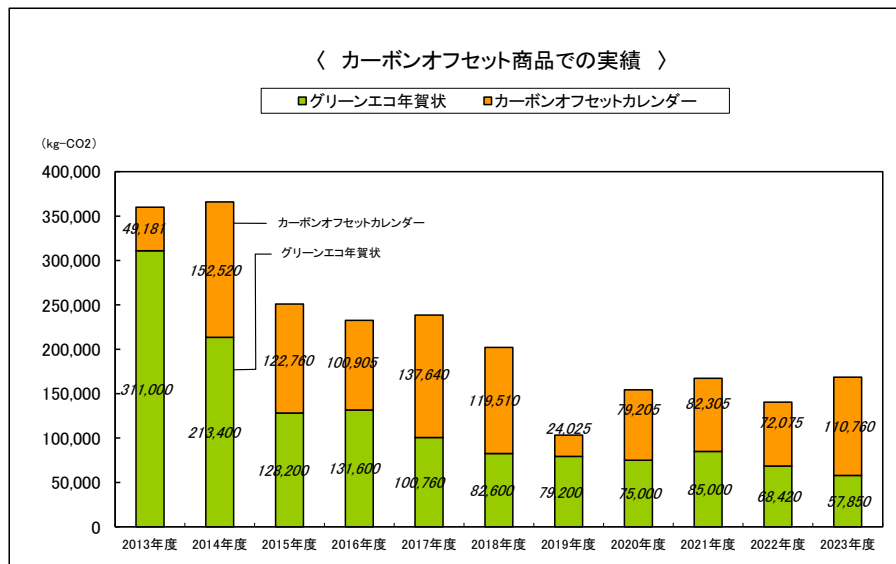
グリーンエコ年賀状プロジェクト

<https://www.cardbox.biz/ecotabi/>



カーボンオフセットカレンダー

https://www.pripress.co.jp/lp/naire_calendar/



■ カーボンオフセットでSDGsを応援

当社は、国連で採択した世界的な社会課題解決に向けた 2030 年アジェンダである「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals : SDGs)」を支援する取り組みを行います。これまで当社では、事業活動・社員の家庭から排出する CO₂ を相殺（オフセット）する仕組みとして北海道内の J・クレジット等の活用や北海道美幌町への植林活動を実施。温暖化対策や地域貢献活動から、さらに SDGs への支援を視野に入れた活動へ展開を拡げる予定です。

当社がカーボンオフセットに活用するクレジットの調達先は北海道・石狩市・下川町・上士幌町・中標津町・帯広市・知内町、植林は美幌町。調達・購入費用を寄附金として扱い、各プロジェクトへの投資・応援を通じて、下記目標につながる支援を実施しています。

関連する SDGs の目標

目標 7：再生可能エネルギーの導入促進

目標 11：持続可能なまちづくり（適切な森林の整備・保全）

目標 13：気候変動へのアクション

目標 1 4 : 海の資源の適切な管理

目標 15：森林資源の適切な管理

目標 17：行政・関係者とのパートナーシップ



※当社は、2015年に国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）に署名・参画しています。

取組紹介



■ 環境目標と環境活動計画の内容と評価

1. 二酸化炭素排出量ゼロを継続

評価

日常管理や再生可能エネルギー電力への切り替え及びカーボンオフセットを実施し、2020 年度に排出量ゼロを達成。2021 年度以降も排出量ゼロを継続中。

2. 廃棄物の削減・ごみの分別 ※数値目標は設定せず、日常管理を実施

「分別ラベル」の通り分別（一般・不燃・産廃・リサイクル）し、所定の保管場所に置く。

3. 節水への取り組み

設備更新時に節水型トイレの設置を推進し、節水に取り組んでいる。

評価

上記 2 と 3 については、2004 年より継続的に実施している。大幅な経営資源の投入を行わない限り、これ以上の成果が見込めず、従来の日常管理を継続実施した。概ねルール通り実行されており、次年度も日常管理を継続する。

4. グリーン購入の推進 ※数値目標は設定せず、日常管理を実施

オフィス用品等は、環境配慮型商品を購入している。

評価

従来の日常管理を継続実施した。概ねルール通り実行されており、次年度も日常管理を継続する。

5. 化学物質の使用量削減（工場） ※数値目標は設定せず、日常管理を実施

評価

2004 年度に印刷溶剤等を一斉に見直し、環境配慮型の製品へ移行した。また、新しい溶剤を購入する際も環境配慮型製品を選択しているが、UV 印刷機導入に伴い PRTR 法該当のインキとなった事により増加した。PRTR 法非該当インキへの切替を検討しているが、品質上問題がある場合は、現状のインキを使用し、維持管理を継続する。

6. 地域貢献活動（植林や下草刈りに参加する）

評価

計画通り実施できた。（内容は P11 の「その他の環境活動など」参照）

7. 札幌本社～環境配慮製品の販売数量

目標：グリーンエコ年賀状（64,000 枚）→実績：54,458 枚（未達成／達成率 85%）

評価

年賀市場の縮小が主要因。

8. 札幌本社～クライアントへの啓蒙活動

目標：当社の環境活動の紹介、及び FSC 他環境仕様の提案（年間 100 件）

→実績：140 件（達成／達成率 140%）

評価

環境配慮型のノベルティグッズの提案依頼が増えた事やグループ企業で製造している紙製クリアファイルなどを紹介する機会が増えた事もあり目標達成となった。

9. 札幌工場～印刷など製造上ミスの削減

目標：①印刷など工場起因のミス（事故）ゼロを目指す→実績：2 件（未達成／達成率 0%）

②部署内印刷ミスを10件以内に抑える→実績：11件（未達成／達成率0%）

評価

手順書の見直しや5S活動を推進してきたが目標未達となった。今後も継続的に手順の見直しを行っていく。

10. 東京本社～クライアントへの啓蒙活動

目標：①当社の環境活動紹介（年間180件）→実績：137件（未達成／達成率76%）

②FSC®、SDGs他、環境仕様の提案（年間60件）→実績：75件（達成／達成率125%）

評価

人員配置の関係で紹介する活動量が減ってしまった。FSCなど環境仕様に関する問い合わせが増えてきているので今後も活動を継続していく。

11. 大阪支社（営業部）～クライアントへの啓蒙活動

目標：①当社の環境活動紹介（年間50件）→実績：20件（未達成／達成率40%）

②環境配慮ノベルティ・FSC等、環境仕様の提案（年間50件）

→実績：38件（未達成／達成率76%）

評価

人員配置の関係で紹介する活動量が減ってしまった。ノベルティ類での提案件数増を見込んだが、なかなか思うような実績数値を残せなかった。来季は営業の人員も増える予定なので目標達成に向け活動していく。

12. 大阪支社（製造部）～工場起因のミス削減

目標：①工場起因のミス（事故）ゼロを目指す→実績：0件（達成／達成率100%）

評価

各人が「入荷→製造→出荷」までの手順を確認しながら作業を進め、目標を達成できた。製造体制が新しくなるが今後も活工場起因のミスゼロを継続できるように活動する。

13. CO₂排出に係るバウンダリ（対象範囲）の拡大

①社員の家庭への啓発とともに、CO₂排出量を算出しカーボンオフセットする。

②宅配便を利用して納品する際の輸送に関わるCO₂の排出量を把握しカーボンオフセットする。

（算出根拠：発送物の数量・重量、輸送距離などを算出し、経済産業省・国土交通省の「物流分野のCO₂排出量に関する算定方法ガイドライン」を参考に当社基準を作成し算出する）

評価

① 25世帯（25名）参加→76,931kg-CO₂排出／参加率24%

② 各宅配業者及び輸送先毎に発送数量を集計し算出→8,326kg-CO₂排出

■ その他の環境活動など

1. 北海道グリーン購入ネットワーク主催の『カーボンオフセット「サミットの森」づくり in 札幌白旗山 2023 年（下草刈り）』（2022.07.02）



下草刈りとは

植樹した苗木の生育には日光が必要です。苗木の周りには、苗木より背の高い草木が多く生えています。そのため苗木に十分な日光が当らず成長を妨げられ生存すらできなくなることがあるため、背の高い草木を刈る「下草刈り」が必要となります。

2. カーボンオフセット年賀状販売を通じた植林活動「年賀の森（美幌町）」で植樹と下草刈りを予定していたが大雨による通行止めにより中止となった

※以下は、2022 年 7 月 8 日に実施した様子



3. 一般社団法人日本印刷産業連合会主催の「2023 年度第 21 回印刷産業環境優良工場表彰」にて奨励賞を受賞（2023.09.13）



4. 北海道グリーン購入ネットワーク主催の『カーボンオフセット「サミットの森」づくり in 札幌白旗山 2023（間伐体験）』（2023.10.29）



間伐とは

森林の混み具合に応じて樹木の一部や枝を伐採し、木の成長を促す作業です。間伐を行うことでより多くの光が注ぐようになり、木が健全に成長することができます。

5. 札幌 SDGs 企業登録ポータルサイトに登録（2024.05）

札幌SDGs企業ポータルサイト

ログイン新規登録

札幌SDGs企業登録制度とは札幌SDGs先進企業認証制度とは登録企業検索お問い合わせ

株式会社プリプレス・センター
「サステナブル経営」と「低炭素社会」への実現向け取組を行っております

公式ウェブサイト公式SNSもチェック!f@x

基本情報

名称株式会社プリプレス・センター

業種製造業

所在地〒064-0810 札幌市中央区南10条西8丁目4番地1

PDF登録企業チェックリスト

6. 北海道が取り組んでいる「北海道フロンティアキッズ育成事業」に協力

北海道フロンティアキッズ育成事業

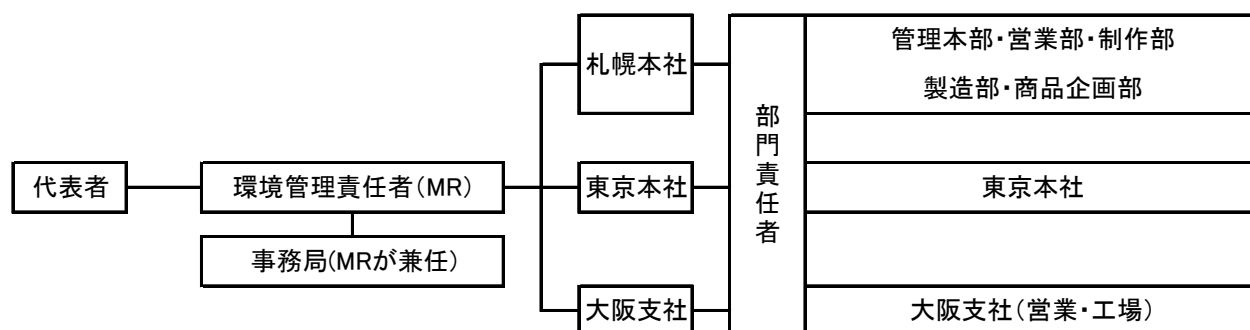


「フロンティアキッズ育成事業」では、子どもたちが総合学習の時間などにおいてSDGsの視点を通して、自分たちが暮らす地域の環境や経済、社会について学び、自分たちの地域の自然や町並みをどうすれば未来に残すことができるのかということについて「地域未来図」を作成して考えることにより、地域貢献への意識の芽生えを促すとともに、持続可能な地域を牽引する将来のリーダーとなる人材を育成します。

▶▶▶ 令和6年度環境学習応援隊（協力企業）一覧 ▶▶▶

北海道の HP より抜粋

■ 実施体制



構成要素	役割、責任及び権限
代表者	会社を代表し、会社業務の全ての執行を統括する 1. E A 2 1 環境マネジメントシステムの実施及び管理に不可欠な資源の提供、資源には、人的資源及び専門的な技能、技術並びに資金を含む 2. 環境経営方針の作成 3. 環境管理責任者の任命 4. 全体の評価と見直しの実施 5. 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者 事務局	1. E A 2 1 に従った環境マネジメントシステムの要求事項の確立、実施、維持 2. 代表者（社長）への実績報告を含む見直しのための報告 3. E A 2 1 環境マネジメントシステムの運用実施 4. 文書・記録の作成・管理 5. 運用状況のチェック 6. 環境活動レポートの作成責任
部門責任者	1. E A 2 1 環境マネジメントシステムの運用実施 2. 環境管理責任者の指示による文書・記録の作成 3. 運用状況のチェック

■ 次年度の主要な環境目標と環境活動計画の内容

※廃棄物の削減・節水・節電・化学物質の使用量削減に関しては、2004 年より継続的に取り組んでおり、大幅な経営資源の投入を行わない限り、これ以上の成果が見込めず、これからも現状の日常管理を継続していく。ただし、設備更新の際は、環境配慮を考慮した設備の導入を検討する。

1. 札幌本社～「環境配慮製品の販売促進」・「クライアントへの啓発活動」
目標：①グリーンエコ年賀状の販売数量 45,000 枚
②当社の環境活動紹介及び FSC®他、環境仕様の提案(年間 100 件)
中期目標:販売数量、提案件数のアップが基本とするが、市場動向等を考慮し見直す
2. 札幌工場～「印刷など工場起因のミス、ゼロを目指す」・「部署内印刷ミスの削減」
目標：①工場全体で年間 0 件
②部署内での印刷ミス削減（年間 10 件以内）
中期目標:ミスの削減を継続
3. 東京本社～「クライアントへの啓発活動」
目標：①当社の環境活動紹介(年間 150 件)
②FSC®、SDGs 他、環境仕様の提案（年間 50 件）
中期目標:紹介、提案件数のアップが基本とするが、市場動向等を考慮し見直す
4. 大阪支社（営業）～「クライアントへの啓発活動」
目標：①当社の環境活動紹介(年間 50 件)
②環境配慮ノベルティ・FSC®等、環境仕様の提案（年間 50 件）
中期目標:紹介、提案件数のアップが基本とするが、市場動向等を考慮し見直す
5. 大阪支社（工場）～「工場のミス、ゼロを目指す」
目標：工場全体で年間 0 件
中期目標:工場のミス、ゼロを継続
6. その他の環境活動計画
 - (1) 社員の家庭への啓発とともに、CO₂ 排出量を算出しカーボンオフセットする。
 - (2) 宅配便を利用した際の輸送に関わる CO₂ 排出量を把握しカーボンオフセットする。
 - (3) 事業活動で排出された CO₂ をカーボンオフセットする。
 - (4) 地域貢献活動：植林や下草刈りに参加する。
 - (5) CO₂ の排出量ゼロを継続する。

■ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

罰則・行政指導に関わる義務違反規定について、違反及び関係機関から指摘はなかった。また、訴訟等も一件もなかった。（主な環境法令：廃棄物処理法、騒音・振動規制法、PRTR 法、消防法）

■ 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・ 植林や植林後の管理（下草刈）など、今後も地域貢献活動を継続していく。
- ・ CO₂ 排出に関わるバウンダリの拡大（社員の家庭や輸送時の CO₂ 排出量）の取り組みは、今後も継続していく。
- ・ 社屋の設備更新時には環境配慮型の設備導入を今後も検討する。
- ・ 有機溶剤等の取扱に関しては、これまで同様、十分注意していく。
- ・ クライアントへの啓発活動（当社の環境活動紹介、環境仕様の提案等）を継続していく。
- ・ 工場でのミスを削減すべく、QMS 活動と並行して推進していく。

■ 当社工場で使用の印刷溶剤について

過去に印刷用溶剤に含まれる化学物質が健康被害を及ぼすとの報道がありましたが、当社では 2004 年から本格的に環境活動に取り組み、当社印刷工場で使用の溶剤については、PRTR 法など、環境関係の法規制に準じた管理を一貫して行っており、従業員の健康を害するような事は一切ありません。

過去の環境活動等の紹介

1. 北海道洞爺湖サミットの公式ポスターの印刷を受注（2008 年）



2008北海道洞爺湖サミット
公式ポスター 印刷(2008年)

日頃の環境配慮活動が関連機関から認められ、公式ポスター・公式ガイドブックの印刷を受注することができた。
用紙やインク、印刷方法についてはグリーン購入のガイドライン等を参考とした。

2. 「2009 日本パッケージングコンテスト」において、弊社が製造した坂本龍一さんの北海道限定シングル「nord」の CD ジャケットが日用品・雑貨包装部門賞を受賞（2009 年）



〈 特徴 〉

- ・紙のみで出来ている。
- ・のこぎり屑を 50%以上配合した環境対応紙を使用している。
- ・外側ケースは、折り畳み形状で設計されており、糊を一切使用していない。

3. 東京都足立区の「あだち区民まつり（A-Festa2010）」において、当社の環境すごろく「環境戦隊サスティナー」が無料配布され環境啓発に協力（2010 年）

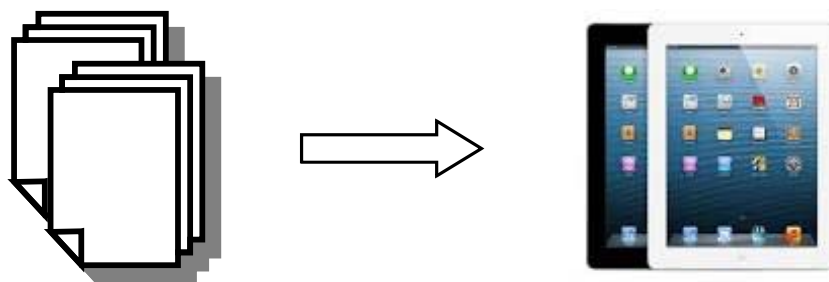


4. 大丸藤井(株)より「震災復興型カーボンオフセット用紙」を購入し、16,355kg-CO₂ をオフセット
(2012 年)



5. ipad 導入で会議資料をペーパーレス化 (2012 年)

定例会議時に使用していた会議資料を「紙」から「ipad」へ移行したことにより、A4 用紙換算で年間約 7,200 枚のコピー用紙を削減



6. 「北海道 森と大地のカーボン・クレジット」の活用第一号となる。(2013 年)



「CO-Net ニュース」より (<http://www.carbonoffset-network.jp/index.html>)

7. 「平成 25 年度カーボンフットプリントを活用したカーボンオフセット製品等試行事業」の第一号の認証を取得（2013 年）



環境教育団体 elsa が企画協力・実践しているプログラムで使用する環境学習ノートの作成の際に、平成 25 年度の試行事業で初めての認証を取得しました。この試行事業は、製品のライフサイクルにおける温室効果ガス排出量を算定した事業者が、別途取得した同量の クレジットにより埋め合わせ（カーボンオフセット）を行ったことを認証し、製品に認証ラベルを添付するものです。

8. 当社製造の「ポストカードシマフクロウを守ろう」が、CFP 検証合格・どんぐり認証マークを取得（2014 年）

カーボンフットプリント登録情報

1.1	登録番号	CR-BS03-15005	1.7 認証区分
1.2	製造名称（日本語）	ポストカード「シマフクロウを守ろう」（POD版）	1.8 製造者
1.3	製造名称（英語）	Post Card for protection bleketon's fish owl (printed in JAPAN)	
1.4	製造形式	サイズ：100mm×150mm 形式：標準版に付いてセット 印刷単位：SHV/Sサイズ90×60mm (1冊/200枚)	1.9 製造場所
1.5	CO2削減率	100%	
1.6	公開日	2015年2月4日	1.10 製造者

※製造者には、各製品に「シマフクロウ」のイラストを添付し、環境にやさしい製品であることを示す。

4.1 CFP算出結果の概要

オンデマンド印刷による小ロット生産の環境負荷削減についてCFP算出を行いました。原料調達段階における温室効果ガス排出量が全体の87%と最も多く、この中でも印刷用紙の製造工程が最も多く排出されています。尚、印刷に使用されるトナー4色の原料の製造加工工程については、印刷会社より提供された情報を利用して算定しています。

5. 算出結果

5.1	製品名	ポストカード「シマフクロウを守ろう」	5.2	製品名	ポストカード「シマフクロウを守ろう」
5.3	製造会社	株式会社リコー	5.4	製造会社	株式会社リコー

5.5 算出結果

6.1	製造方法	システム印刷方式	6.2	システム印刷方式	SONI4001
6.3	製造場所	CR-BS03-15005	6.4	製造場所	2015年1月28日

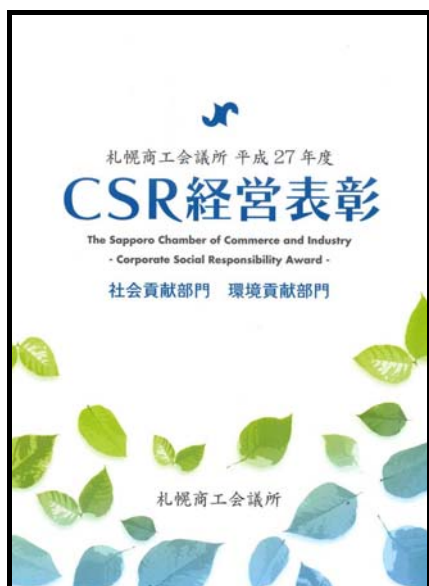
7. 備考

(注) 二酸化炭素削減率、CFP削減率の算出は、CFP削減率の算出に、
http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/001048/CR-BS03-15005.pdf

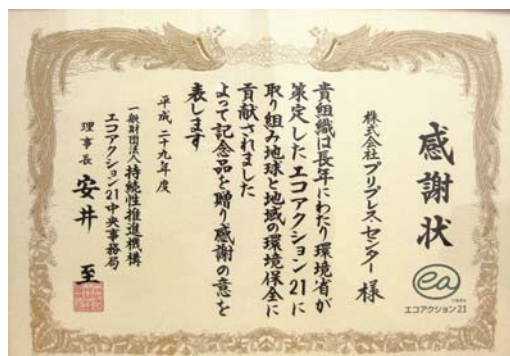
(カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム (CFP プログラム) HP より
https://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/001048/CR-BS03-15005.pdf)

※株式会社リコーが開発した「POD 印刷物の CFP 算出及び認証申請書作成支援ツール」を利用する事で、作業負担の大幅軽減を図っています。

9. 平成 27 年度札幌商工会議所「CSR 経営表彰」において、社会貢献部門と環境貢献部門をダブル受賞（2016 年）



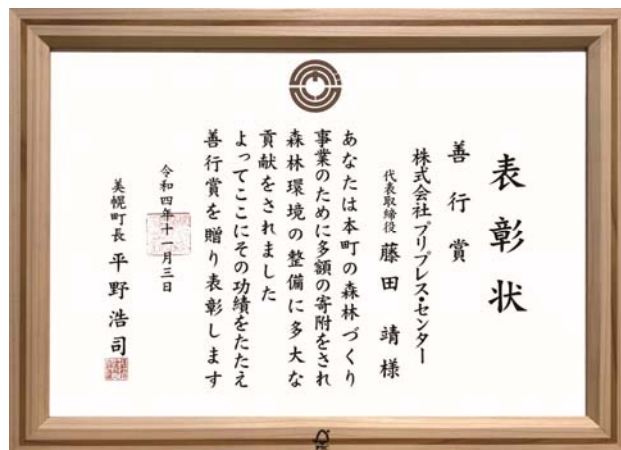
10. エコアクション 21 認証・登録 10 年継続の事業者として表彰される（2018 年）



11. 札幌市生物多様性レポートに当社の取組が紹介される（2018 年）



1 1. 美幌町での植林活動が認められ「令和四年度善行賞」を受賞（2022 年）



企業及び代表者の環境活動

1988 年度

創業と同時に北海道リサイクル運動市民の会の発足から第一回目のフリーマーケット開催に携わる。(1988 年から 1991 年まで事務局長。フリーマーケットのアメリカ現地視察、当時の北海道知事、横道孝弘氏との意見交換、札幌市のアースデー、環境月間行事、リサイクル月間行事などに多数かかわる)

2003 年度

社内製造 IT 業務ワークフローの省力化や DB 化を目的にブラウザ上で稼動する「JOB 管」を開発。

2004 年度

ISO14001 認証取得。

2005 年度

グリーン購入ネットワーク理事、札幌市環境活動推進会議委員に就任。

挨拶状・年賀状の e コマースサイト「Cardbox」が経済産業局 IT 経営百選奨励賞を受賞。新しいビジネスモデルと省力化されたワークフローなどが高く評価される。

2006 年度

印刷と WEB の新しいビジネスモデルの提案を目的に携帯 ASP サービス「モバイル店長」、ビジネスブログ「かんたネット」の販売開始。「JOB 管」やグループウェアの導入、環境配慮活動などが評価され、IT 経営百選優秀賞を受賞。

2007 年度

環境マネジメントシステムを ISO14001 からエコアクション 21 に変更。(認証・登録番号 0001952)

2008 年度

グリーン購入ネットワークの地域組織である、「北海道グリーン購入ネットワーク」の設立に向け活動を行う。

FSC® (Forest Stewardship Council、森林管理協議会) の COC 認証を取得。(認証コード CU-COC-811067)

2009 年度

イギリスで設立されたカーボンマネジメント・カーボンオフセット企業 co2baiance と排出権取引契約。

「2009 日本パッケージングコンテスト」において、弊社が製造した坂本龍一さんの北海道限定シングル「nord」の CD ジャケットが日用品・雑貨包装部門賞を受賞者。

2010 年度

中小企業家同友会全国協議会主催の「2009 年度同友エコ」において、外部審査員賞を受賞。

2011 年度

中小企業家同友会全国協議会主催の「2010 年度同友エコ」において、会長賞を受賞。

北海道美幌町より「平成 23 年度善行賞」を受賞。

2012 年度

グリーン購入ネットワーク 主催の「第 14 回グリーン購入大賞」において、審査員奨励賞を受賞。

北海道美幌町より「平成 24 年度善行賞」を受賞。

2013 年度

「平成 25 年度カーボンフットプリントを活用したカーボンオフセット製品等試行事業」の第一号の認証を取得。

「北海道 森と大地のカーボン・クレジット」の活用第一号となる。

北海道美幌町より「平成 25 年度善行賞」を受賞。

2014 年度

北海道美幌町より「平成 26 年度自治功労賞」を受賞。

2015 年度

平成 27 年度札幌商工会議所「CSR 経営表彰」において、社会貢献部門と環境貢献部門をダブル受賞。

2016 年度

日本印刷産業連合会主催の「第 15 回印刷産業環境優良工場表彰」にて奨励賞を受賞。

北海道美幌町より「平成 28 年度善行賞」を受賞。

2017 年度

北海道美幌町より「平成 29 年度善行賞」を受賞。

エコアクション 21 認証・登録 10 年継続の事業者として表彰される。

2018 年度

北海道美幌町より「平成 30 年度善行賞」を受賞。

2019 年度

北海道美幌町より「令和元年度善行賞」を受賞。

2022 年度

北海道美幌町より「令和四年度善行賞」を受賞。

2023 年度

札幌 SDGs 企業登録ポータルサイトに登録。

環境活動レポート 2023 年度版

活動期間（2023 年 6 月～2024 年 5 月）

2024 年 9 月 17 日発行

株式会社 プリプレス・センター

北海道札幌市中央区南 10 条西 8 丁目 4-1

TEL : 011-206-7654 FAX : 011-520-7887

URL : <https://www.pripress.co.jp>